

令和3年度決算を認定！

一般会計総額104億9,007万円

気になる事業をピックアップ！

ふるさと納税

熊野町を応援したい方からの寄附金。返礼品は約30事業者260品目を数える



▲返礼品のジビエ肉
(7,992万円)

主な質疑

Q. 前年より寄附額が40%増額している。リピーター数を増やし、更に納税額アップの努力をお願いしたい。

A. リピーター率は約5%弱だが前年度の寄附者にアンケートを実施し意見をいただいている。ふるさと納税サイトの掲載方法も工夫をし、更なる納税額アップに努める。

一般介護予防事業

「シルバーリハビリ体操指導士養成事業」を中心に感染対策を講じ事業の継続を行った



▲シルバーリハビリ体操の様子
(1,514万円)

主な質疑

Q. 今回初めて1級指導士5人を養成されたと聞いた。2級の方27人、3級の方57人を含め、どのような活動をしているのか。

A. 3級の方は地域で体操の指導、2級の方は地域での指導と3級の取りまとめ、1級の方は3級指導士の養成と2級、3級の取りまとめを行っていただいている。

防災施設整備事業

西部地域の防災拠点として旧くまの・みらい交流館の敷地内へ新館を増設した



▲熊野西防災交流センター新館
(1億794万円)

Q. 西部地域の避難者の受け入れ体制はどのようになっているか。

A. 西部地域の避難所は、西防災交流センター(旧：くまの・みらい交流館)、第三小学校、第四小学校、町民体育館、西ふれあい館(旧：西部地域健康センター)の5ヶ所ある。地域防災計画では2,120人の避難者の受け入れが可能である。

保育所等運営一般事務事業・保育所等運営事業

町内3つの認可保育所及び3つの認定こども園での保育により、子育て支援を行い、健全育成を図った



▲屋外で遊ぶ園児たち
(8億2,271万円)

Q. 他県で通園バスでの熱中症死亡事故が起こった。町内の通園バス指導はどのようにされたか。

A. すぐに注意喚起を行った。また、国からの通知により緊急安全点検を実施している。

Q. 入所者数は、定員489人に対し524人と多い。これ以上増えると待機児童が出るのでは。対策を考えているか。

A. 現在入所定員を超えての運営だが、2割程度の増員までは受け入れは可能と判断している。各園と調整を行い、保育士の確保をお願いしていく。

環境衛生事業

小型合併浄化槽を設置する者に対し補助金を交付する



▲浄化槽
(1,727万円)

Q. 浄化槽を設置されていない住宅から生活排水が流れ出て、水質保全が保たれていない場所がある。対策は。

A. 既存の住宅には、浄化槽の設置を強制できないが、浄化槽設置について周知を行う。

Q. 下水道が通っていない地区の世帯数と、その中での浄化槽設置の件数は。

A. 推計で1,000世帯。その中での合併浄化槽は586件、単独浄化槽は180件となっている。

ハザードマップ作成事業

町内全域のハザードマップを作成し、町のホームページで公開するとともに、町内全戸に配布した



(374万円)

Q. 外国人向けのハザードマップ作成はできているか。

A. 現在はできていないが、防災アプリ『避難所へGO!』は多言語に対応しているため、そちらを活用していただきたい。

(各ページの数値については表記単位未満を四捨五入しています)